

NTM | WATCH

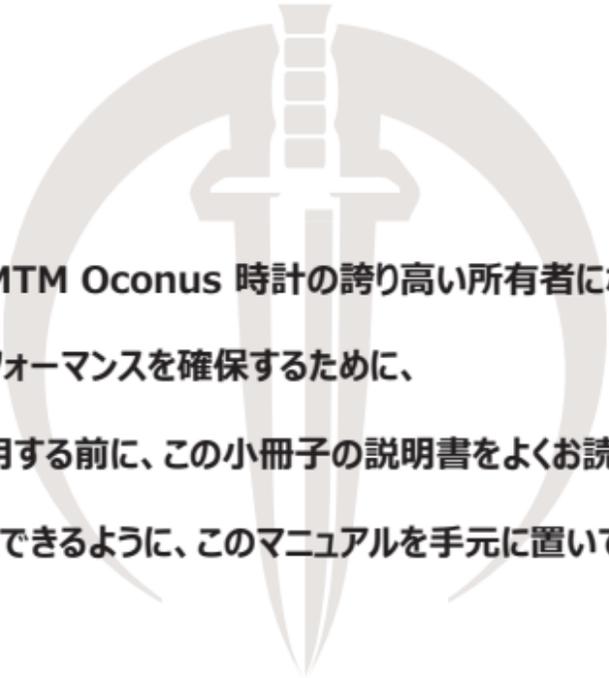


OCONUS

目次

前置き	3
機械式時計の特徴	4
各部名称	5
ご使用方法	6
時刻・曜日・日付の調整方法	8
月初めの日付調整	10
パワーリザーブインディケータ	11
時計保管の注意点	12
時計の品質を維持するために	13

前書き



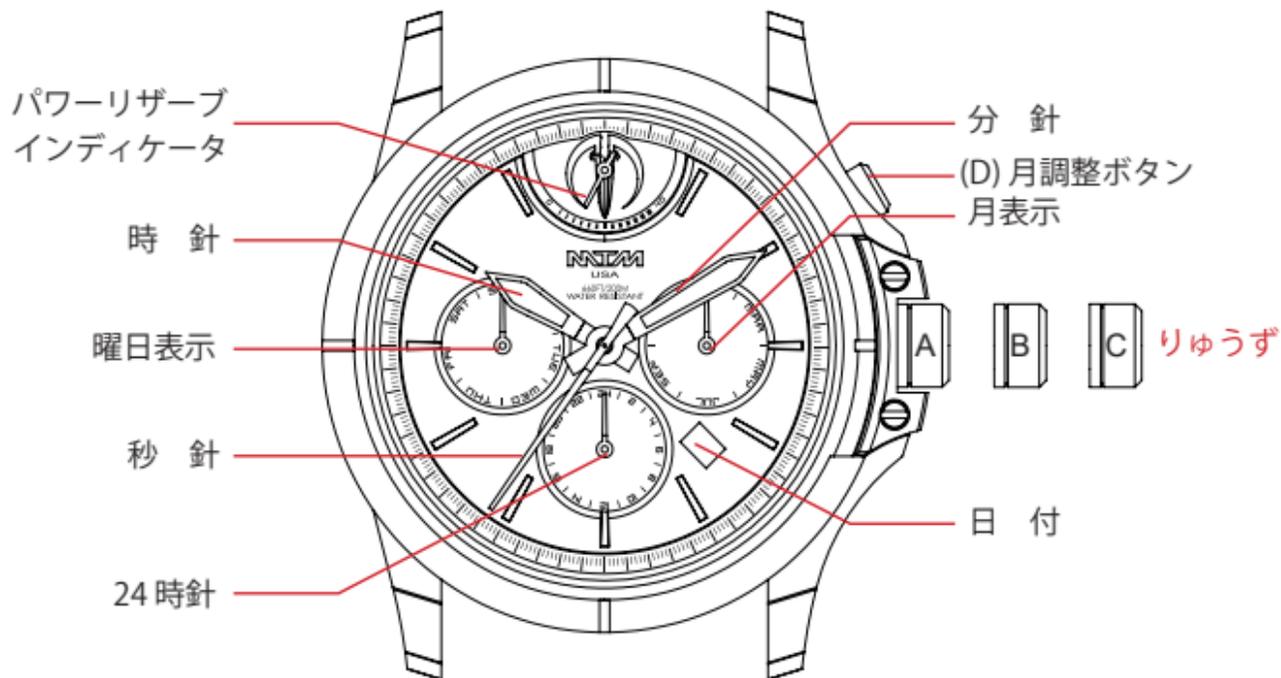
あなたは MTM Oconus 時計の誇り高い所有者になりました。
最適なパフォーマンスを確保するために、
時計を使用する前に、この小冊子の説明書をよくお読みください。
すぐに参照できるように、このマニュアルを手元に置いてください。

機械式時計の特徴

(自動巻き式)

- ・この機械式時計は、ぜんまいから得られるエネルギーを使用して動作します。
- ・時計が完全に停止している場合は、手動でりゅうずを約20回ほど回してぜんまいを巻き上げ、時計を始動させます。
- ・クォーツ時計の精度は月差または年差のレートで示されますが、機械式時計の精度は通常、日差(1日あたりの進み/遅れ)で示されます。
- ・機械式時計の通常の使用精度は、使用条件(時計を手首に装着する時間、温度環境、手の動き、ぜんまいの巻き状態)によって異なります。
- ・時計が強い磁気の影響を受けると、一時的に時間の誤差が生じます。時計に強い磁場がかかると時計の部品が磁気を帯びることがあります。この場合、磁気の除去などの修理が必要です。時計を購入した販売店にお問い合わせください。

各部名称



リゅうず

- | | |
|------------|--------------------|
| A) 通常位置 | : ぜんまいの巻き上げ (手動操作) |
| B) 第一段調整位置 | : 曜日・日付の調整 |
| C) 第二段調整位置 | : 時刻の調整 |

ご使用方法

この時計は、手巻き機構を備えた自動巻き時計です。

- ・時計を手首に装着すると、着用者の腕の動きが時計のぜんまいを巻き上げます。
- ・時計が完全に停止している場合は、りゅうずを回してぜんまいを手動で巻き上げることをお勧めします。

りゅうずを回してぜんまいを手で巻く方法。

1. りゅうずをゆっくりと回して(12時方向)、ぜんまいを巻きます。りゅうずを反対時計回り(6時方向)に回してもぜんまいは巻き上げられません。
2. パワーリザーブインディケータが完全に巻き上げられた状態を示すまで、ぜんまいを巻き上げます。秒針が動き始めます。
3. 時計を手首に装着する前に、時刻、曜日、日付を設定します。

時計にはねじ込み式りゅうずが付いています。りゅうずを保護するためにケースにねじ込みます。

- ・時計のすべての設定が完了したら、りゅうずを時計回りに押し込みながらねじ込みます。
- ・りゅうずが硬すぎてねじ込むことができない場合は、りゅうずを反時計回りに1回回してから、もう一度試してください。
- ・りゅうずのネジ山を傷める恐れがありますので、無理にねじ込まないでください。

ご使用方法

- ・ぜんまいが完全に巻かれたときに、りゅうずをさらに回す必要はありません。
回しすぎても時計のメカニズムを損なうことはありません。
- ・時計が完全に巻き上げられると、約40時間作動します。
- ・時計を完全に巻き上げずに使用すると、誤差が生じる場合があります。
これを避けるために、時計を1日10時間以上着用してください。
手首に装着せずに使用した場合：たとえば、机の上で時計のように使用する場合は毎日決まった時間に完全に巻き上げるようにしてください。
- ・ぜんまいを巻かずに停止した時計を使用している場合、ぜんまいをりゅうずで巻いてもすぐには作動しません。
これは、機械式時計の特性上、ぜんまいの巻き始め時のトルク(力)が低いからです。
ぜんまいを巻き上げた後、ある程度の強いトルクに達すると、秒針が動き始めます。
ただし、時計を左右に振ってローターを回すと、早く起動できます。

時刻、曜日、日付の調整方法

- ・時計が作動していることを確認してから、時刻、曜日、日付を設定してください。
- ・時計には曜日と日付の機能があり、24時間に1回日付が変わるように設計されています。
日付は深夜12時頃と午前2時頃に変わります。
午前/午後が正しく設定されていないと、日付は正午頃と午後2時頃に変わります。

1. 第一段調整位置までりゅうずを引き出します。(秒針は動き続け、時計の精度は損なわれません。)



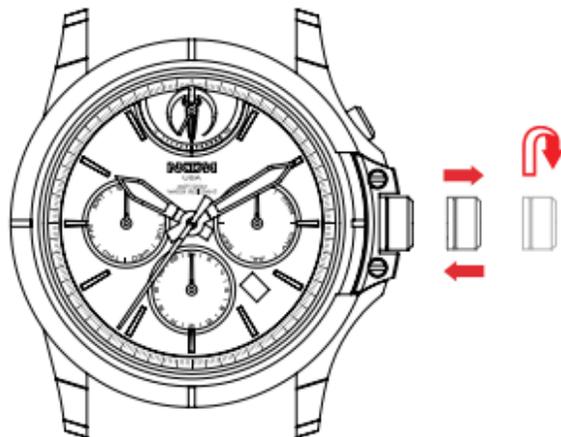
2. りゅうずを時計回りに回して曜日を設定できます。

3. りゅうずを反時計回りに回して日付を設定できます。前日の日付が表示されるまで回します。
例) 今日が月の6日である場合は、最初にりゅうずを反時計回りに回して日付を「5」に設定します。

4. 秒針が12時の位置にあるときに、りゅうずを第二段調整位置まで引き出します。
(秒針はその場で止まります。)

りゅうずを回して、日付が次の日付に変わるまで針を進めます。
これで、午前の時間帯が設定されました。さらに進めて正しい時刻を設定します。

5. 時報に従ってりゅうずを通常位置に押し戻します。



ご注意

機械式時計のメカニズムは、クォーツ時計のメカニズムとは異なります。
時刻を設定するときは、必ず分針を希望の時刻より少し遅らせたところから、正確な時刻に合わせてください。

月初めの日付調整

31日未満の月の翌月初は日付を調整する必要があります。

例)30日の月の翌月初の日の午前中に日付を調整する。

- 1.時計は「1」ではなく「31」と表示されています。第一段調整位置までりゅうずを引き出します。
- 2.りゅうずを回して日付を「1」に設定し、りゅうずを通常位置に押し戻します。

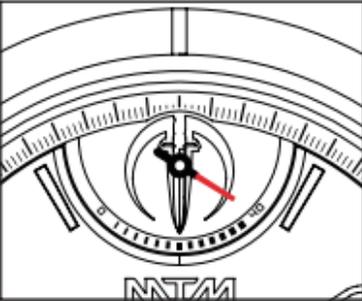
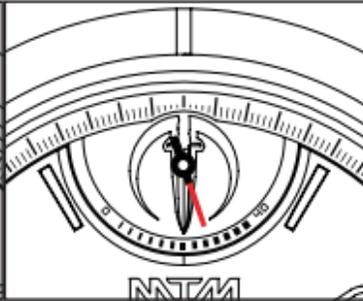
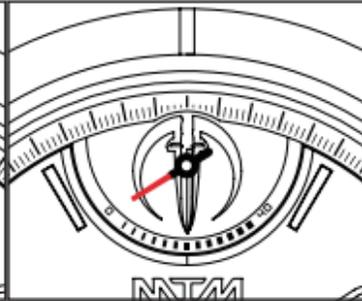


ご注意

午後9時から午前2時の間に日付を設定しないでください。
日付が正しく変更されない場合や誤動作の原因となる場合があります。

パワーリザーブインディケータの読み方

- ・パワーリザーブインジケータにより、ぜんまいの巻き状態を知ることができます。
- ・時計を手首から外す前に、パワーリザーブインディケータを観察して、次に着用するまで時計を動かし続けるのに十分な電力が蓄えられているかどうかを確認してください。必要に応じて、ぜんまいを巻きます。(時計が止まらないようにするには、ぜんまいを巻き上げて、時計を長時間作動させる余力を蓄えます。)

パワーリザーブ インディケータ			
ぜんまいの巻き状態	フル巻き上げ	残 2/3	要巻き上げ
駆動目安時間	約40時間	約26時間	停止寸前または停止状態

- ・ぜんまいが完全に巻かれると、ぜんまい自体に損傷を与えることなく、りゅうずをさらに回転させることができます。時計のぜんまいは、ぜんまいの巻き過ぎを防ぐためにスリップ機構を採用しています。

時計保管の注意点

- ・温度が5℃以下、35℃以上の環境下に長時間放置しないでください。
- ・強い磁気を帯びる場所(テレビ、スピーカー、磁気ネックレス)や静電気の影響を受ける場所に時計を置いたままにしないでください。
- ・振動の激しい場所に時計を置いたままにしないでください。
- ・ほこりの多い場所に時計を置いたままにしないでください。
- ・時計を化学物質やガスにさらさないでください。
- ・時計を温泉水に近づけないでください。

時計の品質を維持するために



ご注意

時計のお手入れ

- ・ケースとバンドは肌に直接触れます。ケースとバンドは常に清潔に保ってください。
これは時計の寿命を延ばすのに役立ち、皮膚の炎症のリスクを軽減します。
- ・時計を外したときは、できるだけすみやかに湿気、汗、汚れを柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
これにより、ケース、バンド、ガスケットの寿命を延ばすことができます。

